寺崎組新聞

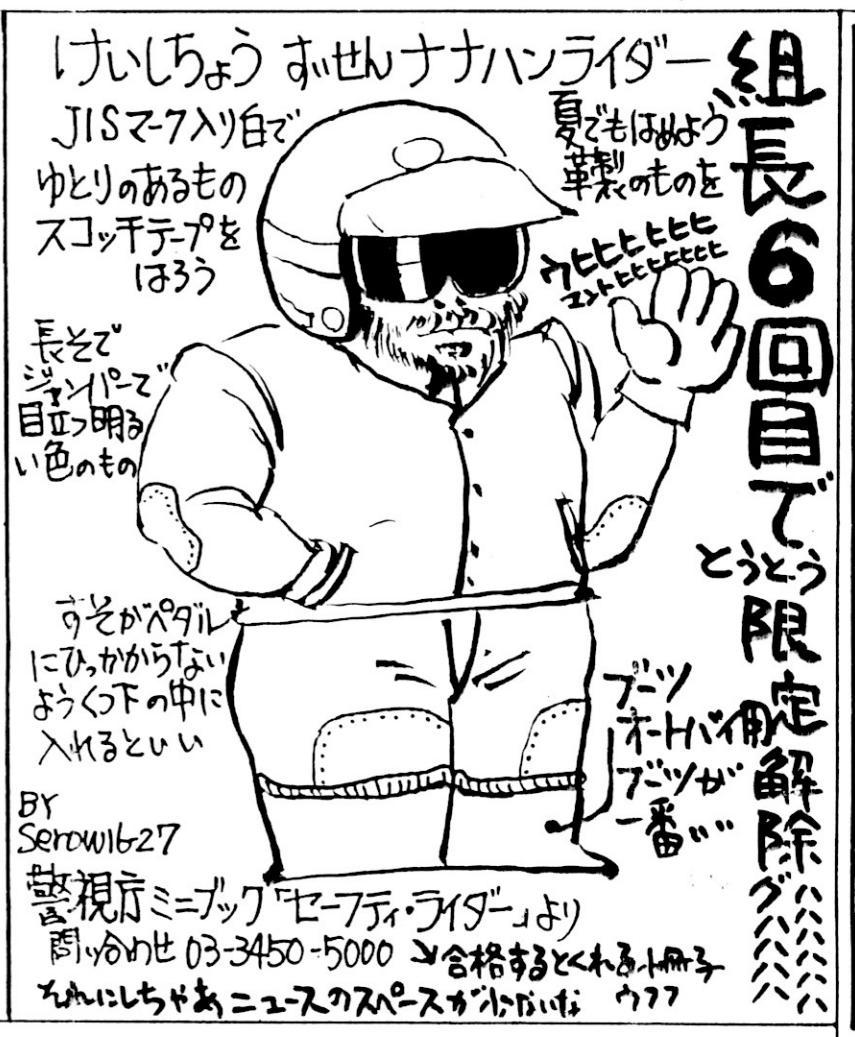
発行所　寺崎組新聞社

十勝川河口の怠惰な日々

●がんばれ！テラレンジャー！！

〜第二十八回寺崎組々会予定地に、悪の秘密結社のトーチカがあるとの情報をつかみ、これをやっつけようと各地に散らばっていた『野宿戦隊　寺レンジャー！』は、ここ十勝川河口に集結しました！

まず隊員を紹介しよう。今回来てくれた隊員は、汚さとうさん臭さで勝負の武器調達係のミドレンジャーうなぎ石原！　そして彼と一緒にやって来たのは、秘密兵器をバハマシーンに山積みプー太郎に扮して情報を収集する、アカレンジャー飯田！　彼らは十月三十日に改めホントのプーチカに潜入し、悪に染まった土を酒で清めつつ他の隊員の到着を待っていた。明けて十月三十一日に駆けつけたのは、サラダオイルと庄司工務店のタオルの使い手（？）コンレンジャー地下鉄前原！　彼は敵トーチカ付近に人が集まっても不思議が無いように、サーカステントを張り擬装するのだった。そして自A隊で体力を維持し、ここぞという時に助けてくれる北脇！　そしてクロレンジャー自A隊で助けてくれる最後にきらびやかなファッションに身をつつみ、一見アウトドアーズマンに見せかけて敵をやっつけるアオレンジャー分母川瀬！



これで五人そろってさあやっつけようとする時に、何と隊長の科学野宿庁長官の寺崎隊長が単身敵に乗り込んで行ってしまったのである。隊長は今回使うマシーンに三十数万円もするMTB快傑轟転号を選び突っ込んで行ったが、敵の低気圧タイフーンに荒波フェイント攻撃をかけられてやられてしまった。これを見たお目付け役の（暴挙監視役ともいう）ソープもとい、ソーリー沢海氏がフィルム望遠サンダーを使って助け出すという熱い友情を見せて我等隊員を泣かせてくれると幕もあった。隊長もやられ、ミドレンジャーの移動基地ムーンラインもあっさりと負けた隊員たちはMrダンディーのタイフーンで壊されてしまい、敵のタイフーンの移動基地ムーンラインもあっさりと負けたのは体力不足と、クスに借りたホワイトビッグベースに乗り込み、メインエネルギーのアルコールが尽きたせいだ！」という事で、ジンギスカンと隊長の限定解除祝いのウイスキーをあおり、次の戦いに備えるのであった。

またまた明けて十一月二日。友人の結婚式があるからと、体力の残っているクロレンジャー北脇は帰還していった。残されれた六人は、またまた体力をつけるべく朝からアルコールを摂取し、コンレンジャー地下鉄の新メニュー、茄の色々挟み天プラ、モチアゲなどを喰らおうとするのであった。が、しかし落とし穴が一つあったのである。何とエネルギーのアルコールが底をついたのである。早速、エネルギー調達部隊を編成しウラホロタウンへと出発。

エネルギー調達部隊が戻ってくるなり隊長はアルコールを体内に収め、隊員のマシーンの性能を確かめるべく脇のモトクロスコースを走りまくると、コンレンジャー地下鉄が敵に扮して追撃するがあっさりと引き離される。その横を働き者のアカレンジャーヨドバシ改…中略プー飯田は流木をせっせと集め、それをアオレンジャー分母川瀬がせっせと燃やすという事を繰り返すのであった。最高四日目の十一月三日、隊長を始め各隊員は撤収をようやく完了し、次なる戦いに備え気合を入れる為によくあるパターンだがマシーンとともに一緒に並んでキメるつもりだったが、アカレンジャーヨドバシ…（中略）プー飯田のバハマシーンが倒れミドレンジャーうなぎのアルティシア号を直撃しこれも転倒。隣のアオレンジャー分母川瀬もそうになったが、長い足のおかげで転倒は免れた。アカレンジャー弁「将棋倒しになったりしてが本当になった」ミドレンジャー弁「アルティシア号は重い」隊長弁「うなぎのニコンは汚いけど丈夫だなぁ」…一同気を取り直して今回の合言葉。『三河屋ぁ、お主もワルよのう』を言って解散する。次回は大菩薩峠で戦う！

野宿戦隊　寺レンジャー！！

（うなレンジャー石原）

テラレンジャーの雄姿！

●第二十八回寺崎組は、北海道は十勝川河口の豊北海岸で行われた。ここは第八回と同じ場所で、流木の多い良い所なのであった。そして組長の好きなはまなすもはえている。組長は相撲大会をやるとか言っていたがどうなるのでしょうか。私は暇だし寝る場所を捜すのも面倒なので一日前から行くのであった。（北海道は日没が早い。午後四時には沈んでしまう。）するともう既に二人も来ていた。それも前日からこいつらは何泊するつもりなのだろうか。その暇な二人の名は、北海道くんだりまで何しにきたんだ68号うなぎ石原と、さくらやを辞めてプーの18号ヨドバシ飯田だ！。そして私がテントを張っている時に来たのは、面目躍如の北海道支部長自衛隊北脇の登場だ。前日から4人もいるなんてちょっと期待してしまう。とりあえず前夜祭と言う名目で（無くても良いのだが）酒を飲むのであった。なぜかよどばしを除く3人が中島みゆきのファンということがわかり、中島みゆきアルバム大会になってしまった。知らない人はまったく知らないマイナーな曲まで歌う3人である。（ちなみに私はCD20枚LD3枚持っている）よくわからないヨドバシは先に寝るのであった。翌、組会当日、誰も来ないうちに買出しに出かける。最近私のテンプラはスランプに陥っているので手を加えることを決断、うなぎのアドバイスも採用する。ただし胡麻和えではない！（前号参照）。組会会場に戻りしばらくすると、轟音と共に組長の登場である。ライオンに追われるウサギの状態で、何と今回は自転車。正確にはマウンテンバイク、これがセローが買えるだけの値段がするらしい。取材を兼ねているので波打ち際で、撮影をするが砂がやわらかく野宿道具一式を背負った組長はあまりにも重すぎた。タイヤはめり込むし、波に足を取られるはで大変だった。焚火を始めいつもどうりカンパイ。流木もいっぱい落ちているが、燃えつきるのも早い。集めて燃やしのくりかえしを続ける。そして最後の組員市川分母川瀬の登場だ。結局以上5名という組会ワースト2を記録してしまった。もっと来ると思っていた私は少し悲しい。ここでなんとサントリー"響"現れる。これはうなぎの社長（鉄砲屋）の寄付で買った物だ。とりあえず組長と北脇の限定解除祝いで授与式を行い、汚いカップで飲むのであった。やたら立派な箱にはうなぎからの祝いの辞が書いてあったが、そこはさすが組長あっさり焚火にくべて啜を取ったりする。ちなみにこの鉄砲屋から組長はトミーガンを買っておりエッグでいじくっている。（奥さんの目が恐くて家に持って帰れない。）市川が準備できたところで本格的に？宴会に突入。とにかく焼肉だと炭火の準備を始める市川を横目に、スランプ脱出を図る私はテンプラの下ごしらえを。新メニューはピーマンにシーチキン、茄にもシーチキンを挟む、チーズのハム巻、あと餅も揚げた気がする。途中事故（倒した）もあったが順調に売れ大満足だ。ヨドバシは白子鍋を（旨かった）北脇は自衛隊食を（皆で回し喰い）市川は焼肉を（沢海さんが喰っていた）うなぎは何を作っていたっけ（風のせいで結局は全て胡麻和えだった）。一番星が見える頃、組長が「テント内宴会にすべえ」の一言で正式な組会では初のテント内宴会へと移行する。なにせスタッフを含めた人数では過去最低の7名なのだ。テントは組長達が宴会テントと呼ぶもので、ダックスの4人用で一応撮影用。しかしこのテント袋が小さくしまいにくい、結露もひどくてびしょびしょでロクな物ではないらしい。皆さんなるべく買わないようにとのことです。テント内では、組長の好きなジンカン、闇鍋、そして響だ。やたら遅く感じる時間経過に驚きそして喜び長い夜は更けてゆく。翌朝相変わらず風は強いが良い天気。朝は納豆の市川、実はこの納豆喰えない奴が二人いた。うなぎと北脇、騙されたつもりでと差し出すも「いいです」の一言。西の人間はこれだから困る。ハズス奴の為に（おまえだおまえ！）北脇を除く6人が連泊を決め暇な一日が始まった。ズーとバイクに乗っていなかった組長は、試乗会と称してウップン晴らしのエンデューロ大会。その間一人帰る北脇、北海道支部長よありがとう。そしてその後自転車で砂浜を走り、沢海さんと痩せる会の実戦だ！しかし摂取量が多いのでやっぱり沢海さんと太る会になってしまう。昼に一応締めを取り行い、怠惰な連泊の為の買い出しに出かける。ジンカンオタクの組長によると真空パックではなくポリサラのラップかけが旨いそうだ。しかし無かった。随分探したんだけど。昼間は一旦寝て皆夜に備える。夜は最初からテント内、またもや組長の好きなジンカン、石狩風闇鍋、これには沢海さんがジャガイモが無いと駄駄をこねるが無視。また同じように夜は更ける。4連泊うなぎ、ヨドバシ、3連泊私、2連泊組長、沢海さん、北脇、市川と一泊で帰った人が一人もいないという不思議な組会でした。

追伸、この後誰も来ませんでした。

記　地下鉄

ブーツ・インプレッション

＜MOTO・FOX　MXブーツ＞

アルパインスターのブーツが欲しくて行った光○で「これがラストだから安くしとくよ」と騙され購入、フィット感はいいが、皮の薄さはいまイチ信用がない。林道よりレース用と諦めている。

＜米軍ジャングルブーツ＞

足の甲より下が合成皮革、上は布製そのため安全性に難あり、足に馴染むのも時間が掛かる。通気穴付の為、夏及び夏の雨天用と割り切るとけっこう使い易い。

＜英軍ブーツ＞

オール皮製、フィット感が良く、歩きやすい、しかし靴底の張り替え不可のうえ高価（旧型3万前後、新型5万前後）はきつい。今のところこれに優るブーツなし。（注・英軍ブーツを手に入れたい方は㈱サバイバル・スペシャル、〒488　愛知県尾張旭市見坂町2874−243までカタログ請求を（800円だと思った）〜

いきなり…ブーツの手入れについて。普通は、ミンクオイルのみを塗ればいいといいますが、あれは皮を柔らかくしすぎるので、月に一度ぐらいにし、他の時はKIWIの「DUBBIN・Shoe・Grease」を勧めます更に強力防水を望む人には「スノーシール」又は「ビーシールプラス」を勧めますが、元々雪山を歩く為の防水用の為、蒸れるのは諦めてください。

128号　農耕馬山本

寺崎組オーストラリア野宿塾開催

参加者募集

寺崎組インオーストラリア日程

93、3、6〜15の見込み

予算…約40万円（全て込み）

宿泊…野宿　バイク…レンタル

締切り迫る急げ暇人！

詳細についてはメンバーが決まり次第相談の上決定！！

問合わせはスタジオエッグまで

TEL　〇四二三〜二二五〜〇三五〇

寺崎組新聞

124号とピンク三倉

去る10月10日、体育の日、紅葉が始まった宮城県七ヶ宿町の不忘山林道の山奥で何人集まるかとっても心配な宴会が行なわれた。当日の天気は曇りで肌寒い天気であった。一番のりが着くこと4時間（一人ぼっちの三倉）小雨の中待っていたかいがあった。上州グループ酔っぱらいの橋本さんと最近は押さえている金子さんが来た。金子さんが乗ってきたバイクはプレミアムがつきそうな珍しいGIPZだった。

二人が来て安心してテントを張り終えた頃、上越グループが雨の中、峠を越えてやってきた。今回は小山さんが仕事でこられないという事で、竹内さんの事情でこられないという事で、山添さんと田さばらくしてトムさんが来てくれた。

そうだが、連休の川原田さんが来た。朝早くから走っていた東北道とも大混雑だという事で首都高速・次に来たのが唯一来ることを知って影の、いや、ほとんどこの人が主催者で庄司工務店。さっぱり来る気配が無かったのでやきもきしていたがやっと来たか・・・